

『眠りにつく時』 作：ポチ子

小さい頃さ、寝る時に、

もしもこのまま目覚めずに死んじゃったらどうしようって

号泣したことあんの。

なんでかはよく覚えてないけどさ、

その時の俺にとって、それはすごく恐ろしくて。

母さんは、隣ですげー笑ってたけど。

でも今ならさ、

貴方はもう眠ったまま目覚めませんって突然言われたら、

明日の目覚ましをかける必要ないし、

お金だってもういらないし、

干しっぱなしの洗濯物も取り込まなくていい。

最高じゃんって思える。

なーんにも気にせずに、

ただ静かに眠れるんだから、

こんなにうれしい事ってねーよな。

まあそんな日は来ないんだけど。

でも、もしも、本当にそんな日が来たら、

俺は、また怖くて泣くのかな。